



訪問マッサージ 三ツ星治療院

TEL : 070-5020-6164

メール : m3204@y-mobile.ne.jp

いきいき！ニュースレター 7・8月号

医療費改定で変わること

6月から、訪問マッサージ療養費の料金が改定されました。
変更点は主に2点で、「距離加算の減少」と「施術料の増加」です。

これによって変わったのは、事業所からの距離によって、同じマッサージでも料金に大きな差があったのが、その差が縮まったということです。

マッサージ料金の仕組み

料金の仕組みを患者さんにご説明すると、「難しいね」と言われることがよくあります。というのも、医療マッサージは、訪問を前提としていますので、施術料に加えて、訪問料として往診料や距離ごとの加算があるからです。



施術を受けるために、マッサージ師を呼ぶわけですから、感覚的には、
施術料がメインで、往療費や距離加算が補助的な金額設定だと思われるのでは、と思います。

ところが実際は、「施術料より、往療費・距離加算の金額の方が大きい」という仕組みになっています。

例：[距離の近い方] 1.2キロ、全身施術の患者さん

事務所から1.2キロと近くにお住いの、脳梗塞後遺症の患者さんです。全身を施術しています。

今まで往療費として1,800円を頂戴していました。また、全身(5部位)の施術料が1,425円でしたので、合計1回あたり3,225円(自己負担323円)でした。

今回の改定で、往療費(距離加算)は2,300円と2,700円(4キロ以上)の2種類のみとなりましたので、低い方の2,300円です。

施術料は1部位が285円から340円に変更されましたので、5部位(全身)1,700円です。
合計1回あたり4,000円(自己負担400円)となりました。

例：[距離の遠い方] 6キロ超え、全身施術の患者さん

事務所から6.5キロの距離にお住いの患者さんです。パーキンソン病で全身を施術しています。

6キロを超えていたので、今まで最大の距離加算(4110円)をいただいていた。

また、施術料として全身(5部位)を1425円でしたので、合計で1回あたり5,535円(自己負担554円)でした。

今回の改定で、距離加算は2,700円です。また施術料は全身で1,700円ですので、1回あたり4,400円(自己負担440円)の料金で受けることができるようになりました。

比べて見ると・・・

距離の近い患者さんと遠い患者さんの差は、今までは1回2,310円の差がありましたが、今回の改定後は400円(自己負担40円)しかありません。

今までは、この差があるために、事務所から患者さん宅までの距離が近いから、という理由で訪問マッサージを選んでいる方もいらっしゃいました。

今回の改定で距離加算による金額の違いは減りましたので、選べる事業者の幅は広がったと思います。

延髄で起こる脳梗塞 ワレンベルグ症候群

脳の最下部に延髄という部分があります。

延髄は大腦や小脳と脊髄をつなぐ中継地点で、あらゆる身体の命令伝達が通過する神経回路の幹であり、生命維持に重要なところです。

ワレンベルグ症候群は、脳梗塞の一種で、延髄の外側部分に障害を受けて発症する神経疾患です。

別名、延髄外側症候群(えんずいがいそくしょうこうぐん)ともいいます。

梗塞の原因で特に多いのは血管の壁の一部がはがれて、内側に張りついたりするもので、ほとんど前ぶれなく突然起きます。

なぜか、通常の脳梗塞と比較して、40～60代の若年層に発症が多くみられます。

ワレンベルグ症候群の症状

ワレンベルグ症候群は、延髄の外側にある神経に障害がおこります。

延髄の外側には、温痛覚、眼球(散瞳や血管調整など)、嚥下や発声に関係する神経などがあり、また、体幹のバランスを司る神経も存在しています。

障害を受けた部分によって、めまい、眼振、吐き気、さらに嚥下障害、嚙声、しゃっくり、味覚障害、顔面の温痛覚障害など、さまざまな症状が現れます。

以前、NHKのドクターGという番組で、しゃっくりが続くので受診したら、ワレンベルグ症候群だったと診断されたケースが紹介されていました。

とはいえ、梗塞の広がりや経過によって、症状の出方はまちまちなので、個々の患者さんの症状に寄り添って対応する必要があります。

50代で発症した女性患者さん

延髄の左側に梗塞が発症し、障害が残った女性患者さんです。

症状としては、右側は痛みを感じにくい、暑い寒いのが分からない、痺れ、めまい、歩行時に足の動きが思い通りにいかない、等があります。

散歩は出来るものの、左足が外に向いてしまい安定せず、そのため左足は殿部・太ももの外側の筋肉に過緊張がでていました。

右足は、そのアンバランスを補うために、太もも内側の緊張が強くなっていました。

どの症状も辛いものの、一見して障害と分かりにくく、何も知らない人からは障害がないように見えてしまうので、助けが得られにくい面があり、よりご本人の苦悩は大きいようです。

マッサージによる効果

マッサージを始める前から、ツボの場所を知らずにご自身でいろいろ触っているうちに、刺激すると痺れの和らぐ場所を発見したりすることがあったと仰います。

この患者さんの痺れは、ご自身が体験されていたように、マッサージが有効で、マッサージを始めて何度かで痺れが軽減してきました。

また、右側の腕の冷えがありますが、マッサージをすると腕が温まってきて、動きも良くなります。

年齢も若く、徐々に回復してきているので、「もっとよくなるかも」、と色々可能性を探っていらっしゃいます。ご自身でもできるよう、刺激が心地よかった場所は、押し方や刺激方法をアドバイスしたりもしています。

お気軽にご相談ください。

訪問マッサージ 三ツ星治療院

TEL: 070-5020-6164

メール: m3204@y-mobile.ne.jp

